

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2022 年 8 月 30 日作成 第 1.0 版

研究課題名	肝炎に関する後方視的観察研究による総合的解析
研究の対象	2000 年 1 月以降、2022 年 4 月までの期間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターにおいて、肝炎で受診した方を対象とします。
研究の目的	近年の医学の進歩に伴い、肝炎の治療も選択枝が広がりました。治療法が増えたことで、単純に比較することが困難になってきています。そこで多くの患者さんの治療法と効果を包括的に調べることで、有用性を検討します。
研究の方法	対象となる患者さんの臨床データを集めて、様々な解析を行います。
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2027 年 6 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の項目	<p>【試料】診療で採取された以下の検体等を用います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療で採血された際の残余検体 <p>【情報】診療録から以下の情報等を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景情報：年齢、性別、既往歴 ・治療に関する情報 ・手術情報：術式、出血量、合併症等 ・病理結果 ・血液検査の結果：画像検査結果等 ・転帰
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）対応表を作成して、個人と識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有す者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：消化器病センター 野崎昭人</p>

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	本研究は、大学の基礎研究費/治験費を用いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する 者の範囲）	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 野崎昭人</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター（研究責任者）野崎昭人 （研究事務局）野崎昭人</p> <p>電話番号：045 - 261-5656（代表） FAX：045 - 261-9492</p>	